



NHO Shibukawa Medical Center

ウイズ

— No.102 —

令和3年7月（2021年）

編集発行

独立行政法人 国立病院機構 渋川医療センター

電話 0279-23-1010
FAX 0279-23-1011

E-mail: 207-ShibukawaMC_mbx@mail.hosp.go.jp

https://shibukawa.hosp.go.jp

渋川医療センター 広報誌



令和2年度職員表彰者と幹部職員

基本理念

北毛地域の基幹病院として地域の医療機関と連携しその役割を果たします。

基本方針

1. 患者さんの気持ちに寄り添った医療を実践します。
2. 十分な情報を提供し、共に考える医療を行います。
3. がん・呼吸器疾患・重症心身障害児（者）の専門病院として社会に貢献します。
4. 地域医療支援病院として、救急医療を含め地域の医療機関と連携し地域医療に貢献します。
5. 生命の尊さと人権を尊重し、安全な医療を提供します。
6. 教育・研究事業に積極的に取り組み、質の高い医療を常に目指します。
7. 良質な医療を継続的に確保するため、健全な経営と適正な運営に努めます。

目次

令和2年度職員表彰式を開催しました	1
新人看護師と共に	3
2021年度消防訓練について	4
床頭台を更新しました	5
エントランスホールに大型テレビを設置しました	6
CT装置と核医学装置（SPECT装置）が更新されました	7

職場紹介

視能訓練士	8
6階西病棟	9

シリーズ

- 患者さんにとって耳寄りな情報
「新型コロナウイルス感染症と食事・栄養について」 10
「樂ごもり生活への快適セルフストレッチ」 11
- 外来診療担当医表 13
- セカンドオピニオン担当医表 15

庶務班長 佐藤 勝彦

今年の職員表彰式は、令和3年3月31日に開催しました。

職員表彰は、「職務の内外を問わず、広く称賛を受け、職員等の名誉を高揚し、または他の模範となる善行をした職員、業務の改善等について、多大な効果または便益をもたらし、顕著な功績等をあげた職員」、端的に言ってしまうと、「特別に頑張った職員」に対して、院長から表彰する制度です。

今年も昨年同様、コロナによる感染防止の観点から集合型式のプレゼンが行えない中、院内Lanなどのツールを駆使して「院内学会の部」「医療安全に関する教育講演の部」を投票にて最優秀賞などを選出しました。「院内学会の部」では、重症心身障害（児）者病棟に勤務する児童指導員の中島さんが、コロナ禍において面会禁止が長期間に及んでいるご家族のために写真や動画を使ったビデオレターを送付する取り組みにより、ご家族から「宝物になった、涙が出た」などのお言葉をいただき、好評だったことを発表しました。事務部企画課長の荒井さんは、地下水活用システムの導入により災害等による公共水道の断水時にも自前で地下水を給水できるシステムの導入に加えて、水道料金の節減も成しえた取り組みを発表し、それぞれ最優秀賞に輝きました。

「業績評価の部」では、主にコロナ対応を行ったチームの他、チーム医療の貢献、経費節減策の取り組みなどを表彰しました。

なお、令和2年度の大きな特徴として新型コロナウイルスワクチン接種に関する感謝状を3人の職員に贈呈しました。時間が限られる中で、600人余りの職員のワクチン接種の希望日と接種日の調整や接種会場の設営、新型コロナウイルスワクチン先行接種の臨床研究のセッティングなどに大きく尽力されたことが評価されました。

下記のとおり受賞者全員に院長から表彰状及び感謝状が手渡され、受賞者一人一人に院長から労いのお言葉がありました。

こうした、個人やチームの頑張りが渋川医療センターを支えていると強く感じました。

表彰者等

◎院内学会の部

○最優秀賞

- ・ 中嶋 歩／児童指導員

「利用者と家族のココロの距離が空いてしまわないように、コロナ禍における家族支援」

- ・ 荒井 英夫／企画課長

「地下水活用システムの導入について」

◎医療安全に関する教育講演会の部

○最優秀賞

- ・ 入退院センター代表 小和田 美由紀／副看護師長

「入退院センターが行う感染症水際対策」

◎業績評価等の部

○優秀賞

- ・ 呼吸器内科チーム 診療部代表 吉井 明弘／内科系診療部長

「新型コロナウイルス感染患者の入院治療積極的に対応貢献」

- ・ 6階東病棟 石田 ゆかり／看護師
「新型コロナ感染症患者受け入れ施設、大阪南医療センターへの看護師派遣」
- ・ 澁澤 宏俊／経営企画室長
「HCUの施設基準申請を迅速に行い経常収支の大幅改善に貢献」
- ・ 外来化学療法室対応チーム 薬剤部代表 栗原 りか／薬剤師
「外来化学療法対応に貢献」
- ・ 栄養サポート（NST）チーム 栄養管理室代表 長澤 沙央里／管理栄養士
「栄養サポート対応に貢献」
- ・ 臨床検査科 高橋 あゆ子／検査技師
「PCR検査院内導入に向けて積極的に行動し貢献」
- ・ 診療放射線科 村松 奨真／放射線技師
「放射線機器管理士、放射線管理士資格に合格し放射線治療において貢献」
- ・ 診療放射線科 平栗 沙也花／放射線技師
「マンモグラフィ技術試験合格し放射線治療において貢献」
- ・ 医療福祉相談室 落合 翼／医療相談係長
「認定医療社会福祉士合格し、質の高いソーシャルワークにおいて貢献」
- ・ 療育指導室チーム 療育指導室代表 田村 達也／保育士
「重症心身障害病棟における療育活動、家族支援の充実に貢献」
- ・ 循環器内科 山岸 敏治／救急診療科医長
「急患受け入れに尽力し最も貢献」

◎感謝の部

○感謝状

- ・ 事務部管理課 小池 友子／庶務係
「コロナワクチン接種において多大なる貢献」
- ・ 医師事務補助者（DA）チーム 統括診療部代表 角田 真輝子／医師事務補助者
「コロナワクチン先行接種臨床研究においてEDC入力において多大なる貢献」
- ・ 治験管理室チーム 治験代表 直井 隆浩／治験主任
「コロナワクチン先行接種臨床研究、使用成績調査において多大なる貢献」



新人看護師と共に

教育担当看護師長 信澤 治子

4月、新人看護師14名が入職しました。

昨年からの新型コロナウイルス感染症の流行により、看護学生時に臨地実習期間の短縮や実際に患者さんと接する機会がなく、学生同士が模擬患者となりシミュレーションを行うなど、臨床経験が少ないまま就職となりました。

今年度は、「新人看護師が職場へスムーズに適應するために、新人看護師個々のコミュニケーション能力の不足からくる、臨床現場で受けるリアリティショックを緩和する」という目的で、病棟配属前に各病棟を2日ずつ経験するというローテーション研修を行いました。新人看護師は、各病棟の先輩看護師から疾患の特徴や看護師の役割などの説明を受け、自己の目指す看護を考え、希望病棟を選択しました。また、外来、入院センターや手術室では、病棟で経験する機会が少ない業務内容を見学し、病棟業務との連携について学ぶ機会になりました。

現在は、先輩看護師の指導の下、日勤業務の経験を重ね夜勤導入に向けて、頑張っています。一部ですが、新人看護師の抱負を紹介します。

<重症心身障害児病棟配属看護師より>

「自分の思いを言葉にして発することができない患者さんが多く、初めはとても不安でした。少しずつ患者さんの小さな変化や特徴を理解できるようになりました。これからさらに患者さんの個別性に合った看護ができるよう、知識や技術を身に付けていきたいです。」

<一般病棟配属看護師より>

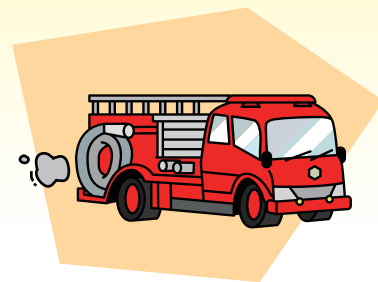
「日々覚えることも多いですが、先輩看護師の方々からケア方法や根拠、勉強や観察の視点など指導を受け、自分が勉強したことと実際の看護を結びつけています。出来る事が増えて、やりがいにも繋がっています。理想の看護師像である、患者に寄り添った暖かい看護の実践を目指して、日々頑張っていきたいです。」

教育担当看護師長として、新人看護師の皆さんが、看護の楽しさや、やりがいを感じながら、それぞれが目指す看護を実践できるよう支援していきます。

一緒に頑張りましょう！



2021年度 消防訓練について



庶務班長 佐藤 勝彦

毎年、7月と翌年の2月に消防訓練を計画し実施しておりますが、今年の2月は職員のコロナワクチン接種が優先され消防訓練は延期となりました。

延期された消防訓練は、5月21日(金)に夜間を想定した消防訓練として、実施しましたが、今年も昨年同様、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、消防署から立会ができなくなったとの連絡があり、当院の職員のみによる自主訓練に変更されました。

訓練は、6階西病棟障害者用トイレから出火したことを想定して始まりました。病棟看護師が火災を発見し「訓練火災発生、障害者用トイレが火事です」と大声で2回叫び、火災報知器を押した後、リーダーへ報告と同時に初期消火を消火器により実施、別の看護師が、病棟の中だけに伝わる放送設備で、火災が発生したことを伝えて、落ち着いて行動し、避難するよう呼びかけました。リーダーから当直室へ通報し、院内放送で火災が発生したことが周知されると、応援隊（各当直者・他病棟応援者）が病棟へ駆けつけ、消火及び患者の避難誘導を実施しました。防災対策本部が防災センターに設置され、各病棟や各部署より被害の状況、入院患者の状況等が報告され、病棟フロアの中央部にある食堂・デイルームへの患者避難誘導が終了したとの報告がありました。やがて火災が鎮火したとの報告を受け、本日の消防訓練は終了しました。その後、新人職員を中心に消火器の操作訓練を防災センター委託業者の指導により実施しました。今回は夜間を想定した訓練を行いました。次回7月の訓練時は昼間を想定した訓練を実施したいと考えています。

コロナ禍で、いろいろ大変な状況ですが、有事の際には落ち着いて行動ができるよう訓練を充実させたいと思います。



防災対策本部訓練



消火器操作訓練の様子

床頭台を更新しました

企画課 契約係長 **平塚 拓也**

開院より6年目を迎えた今年3月末に、病室の床頭台・テレビ、各病棟の洗濯機・乾燥機を全て新しいものに更新いたしました。

更新に向けて、令和2年7月から院長、副院長、看護部長、看護師長等をメンバーとした設置準備委員会を立ち上げました。

委員会では様々な意見が上がり、なかでも一番多かった意見が、「冷蔵庫を床頭台につけよう！」でした。これまで患者さんから設置を希望する声が多く、患者満足度にも繋がると考え、冷蔵庫の導入が決定しました。その他にも、洗濯機と乾燥機が一体型のものへの変更など、より患者さんが過ごしやすい環境になるよう、患者さんの目線に立ち、病院の更新内容を決定していきました。

次に業者の選定です。業者を決めるには入札を行いますが、通常の入札ですと、あくまで金額の評価のみで、一番安かった業者と契約を結びますが、今回は金額だけでなく、床頭台のデザインや使い勝手、故障時の対応といったサービスなど、様々な視点で評価を行いました。入札には3社が参加し、デモ機の展示や分厚い企画書など、より病院が良くなることを考えた、とても熱のこもった提案をいただきました。その熱意に応えるように、委員の評価する目も真剣なものになりました。

そして契約業者が決定し、いよいよ3月、入れ替えのときが来ました。更新する床頭台は466台となり、

沢山の人が関わる大がかりな作業となりました。その入れ替え作業が大きな問題もなく終わられたのは、看護部の方々、そして患者さんのご協力があったからだと思います。

床頭台の更新といった、病院にとって大きな節目に関われたのは、私にとって貴重な経験になりました。今後も病棟のWi-Fi導入など、より患者さんや職員が過ごしやすい環境になるよう努めてまいります。



エントランスホールに大型テレビを設置しました

企画課 契約係長 平塚 拓也

お気づきの方もいらっしゃると思いますが、病院のエントランスホールにテレビを設置しました。設置したテレビの大きさは、75型です。正直、病院ではなく自宅に欲しいです。もっと正直に言うと、自宅に置くには少し邪魔な気がします。そんな気持ちにさせてくれるような大きさのテレビを設置いたしました。

事の始まりは、「患者さんの待ち時間を少しでも快適に過ごしてもらおう！」という思いでした。今後はテレビを流すだけでなく、病院案内や患者さんに役立つ医療情報など放映し、患者満足度が向上するような環境づくりを行っていきたいと思います。

話は変わりますが、皆様は、家族で夕食のとき、テレビをつける派でしょうか。食事時のテレビはマナーが悪いという意見もあるようですが、私の家はテレビをつける派でした。テレビを見ないで過ごす家族団楽の時間も素敵ですが、テレビをぼんやり見て、何気ない会話をしながらの食事私も好きです。それなので、たまにあるテレビがついている居酒屋も好きです。今回ウイズの原稿を書くにあたり、テレビについて人生史上一番考えました。考えていたら、歌番組が見たい姉と、ゲームを続けたい私で喧嘩をしたことなど、いろいろ昔のことを思い出しました。

仕事中はどうしても、前ばかりでなく下を見てしまいます。最近はテレビを見る時間も少なくなっている気がします。それでもせめて、エントランスホールを歩くとときくらいは、上を見てください。きっとNHKがついています。



CT装置と核医学装置 (SPECT装置)が更新されました

副診療放射線技師長 西岡 靖晃

CT装置

2021年4月CT装置がキャノン社製Aquilion Prime SP（80列）に更新されました。

これにより当院は80列CT2台体制での運用となりました。検出器の多列化に伴い、検査時間の短縮、画質向上、患者さんの被曝低減が見込まれます。

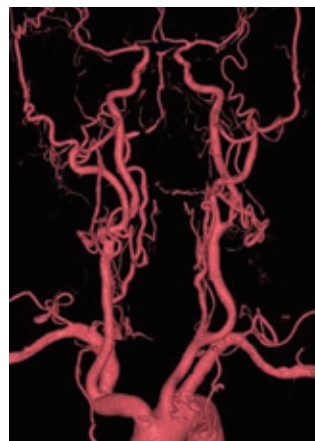
また、今回導入された装置には最新技術であるAiCEが搭載されています。

AiCEとは、部位ごとに線量を変更する技術やAI（人工知能）を用いた画像再構成技術です。これらの技術により高いノイズ低減効果が得られ従来の半分程度の被ばくで検査を行うことができ、高画質な画像を得ることができます。さらに、従来では診断の障害になっ

ていた体内金属による悪影響も少ないため体内に金属が入っている患者様の評価領域も広がりました。今回CT装置の更新で検査はより安全に短時間で済むようになりました。



1. CT装置



2. 頭頸部CTA-AiCeで作成した画像

核医学装置

2021年1月に核医学検査装置（SPECT装置）がGE社製NM830に更新されました。NM830は画質の向上と短時間収集を実現したSPECT装置です。

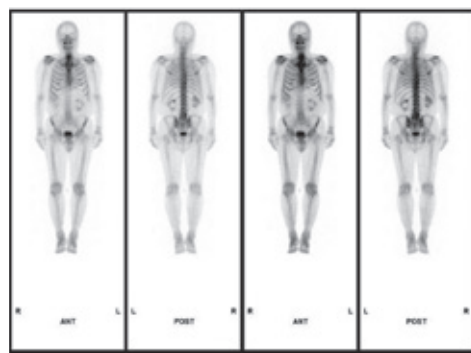
核医学検査（RI検査）は放射性医薬品という放射線を出すお薬を体内に投与し検査を行います。放射性医薬品は目的部位に特異的に集まり、副作用が少なく、短時間で体外へ排泄される非常に安全なお薬です。当院は適切な被ばく線量で検査を行うために、放射性医薬品の投与量を最適化しております。

RI検査は患者さんの体内から放出された放射線をSPECT装置で検出し画像を作成します。目的臓器や病変の形態情報だけではなく、血流や代謝、臓器の働きなどといった機能的な情報を取得できるのもこの検査の特長です。

当院では主に骨シンチ検査、脳血流シンチ検査などが行われています。



1. 核医学装置



2. 骨シンチ画像

職場紹介：視能訓練士



視能訓練士 高田 美鈴

当院の眼科には現在2名の視能訓練士が在籍しており、医師・看護師と連携をとりながら業務を行っております。患者の皆様が安心して診療を受けられるよう正確な検査を迅速に行い、そして親切・丁寧な対応を心がけています。

※視能訓練士とは…「視能訓練士法」という法律に基づく国家資格を有した眼科領域における専門技術者で、日本では1971年に誕生しました。

視能訓練士の主な業務



視機能検査

医師の指示のもと眼科での一般検査をおこないます。

・視力検査・視野検査・色覚検査・眼底、前眼部の写真撮影など…



視能矯正

斜視・弱視に対しての視力向上や正常な両眼視機能の獲得を目的とした視能訓練をおこないます。

・両眼視機能検査など…



健診 / 健診

眼疾患の早期発見に貢献

・三歳児健康診査

・就学時健康診査など…



ロービジョンケア

視覚障害を持つ人たちの生活の質（Quality of Life）の改善を手助けします。

・拡大鏡や遮光眼鏡などの選定、日常生活の工夫や支援機関の紹介など…

眼科疾患には糖尿病をはじめ全身疾患と関連する病気も多くあるため、総合病院としての眼科の特長を生かし他科とも連携をとりながら診療をおこなっております。

物が見えづらくなった、二つに見えるなど…気になることがありましたら声をかけてください。

職場紹介：6階西病棟

6階西病棟看護師長 大石 一輝

6階西病棟は、呼吸器内科を中心とし、肺癌、肺炎、気管支炎、肺気腫の患者さんが入院されています。主な治療としては、「薬物療法」、「化学療法」、「放射線療法」です。

病棟の看護の特徴として、私たちは、患者さんの病状や治療法に合わせた看護を大切にしています。「化学療法」を受ける患者さんは、投与する薬剤によって起こりやすい副作用が異なります。薬剤師と連携し、個々の患者さんの副作用に対し、最小限の苦痛で不安なく治療が受けられるよう薬剤指導と観察・ケアを重点的に行っています。

「化学療法」や「放射線療法」を受ける患者さんは、入退院を繰り返しながら長期に渡り治療を継続されています。様々な経過をたどる患者さんと関わることとなります。苦痛や不安を表現されない患者さんもいるため患者さん、ご家族のそばに寄り添い、言葉の背後にあるつらさや苦しさなど、かくされた思いを理解するよう努めています。そして、患者さんのニーズを尊重し、その人らしく生活が送れるよう援助しています。

また、継続的に酸素投与を必要とする患者さんには、退院後の在宅酸素療法について、患者さんとご家族が安心して生活できるよう、退院指導に努めています。

さらに、医師、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカー、リハビリテーションスタッフなど多職種とともに、入院中から退院又は転院を見据えて、「退院支援カンファレンス」を実施しています。解決すべき課題を共有し、退院後に必要となるサービス内容を検討し、患者さんが安心して生活できるよう支援しています。

退院準備を円滑にすすめ、患者さん、ご家族が笑顔で退院される姿を見て、私たち看護師も日々勇気づけられ元気をいただいています。



カンファレンスの様子

—患者さんにとって耳よりな情報—

新型コロナ感染症と食事・栄養について

栄養管理室長 須永 将広

これまで、健康づくりには、「規則正しい食事」・「バランスの良い食事」などが大切であることを紹介してきました。今号は、新型コロナ感染症と食事・栄養について、お伝えします♪

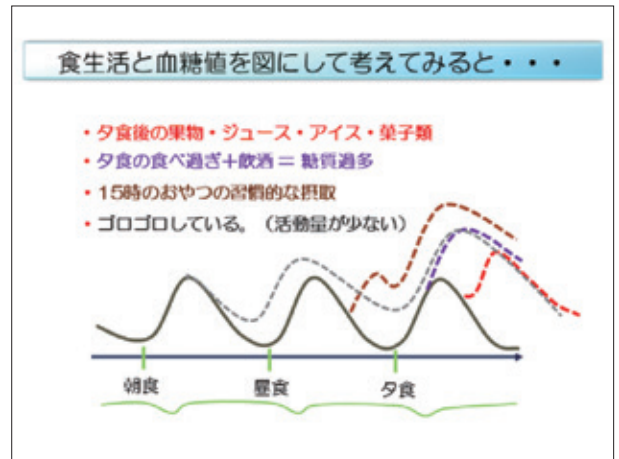
日々の生活で、新型コロナウィルスに罹らないよう、ソーシャルディスタンスを守り、感染と衛生管理に配慮されていることと思いますが、新型コロナウィルスに感染した場合に重症化が懸念されるのが、合併症です。

この合併症として、肥満、糖尿病、高血圧など、普段の食生活が大きく影響する疾患が明らかとなっています。また、前号でお伝えしました「免疫システムの働き」を維持するには、睡眠をしっかりとる、適度に運動をする、食事のバランスを整えるなどの健康管理が重要です。改めて、ご自身・ご家族の食生活を見直してみてもいかがでしょうか。

【このような食生活に注意！】

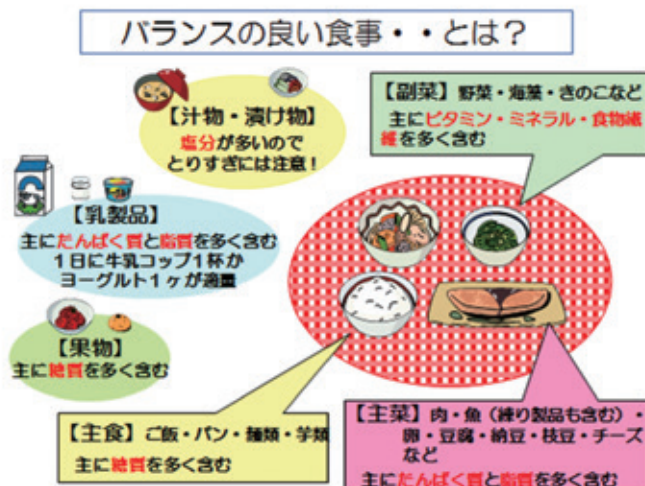
特に、和菓子・洋菓子・スナック菓子などのお菓子類はもちろん、ジュースやアイス、果物でも安易に食べていると、血糖上昇や、エネルギー過剰にもつながります。

また、「おせんべい」は、甘くないから大丈夫とお考えの方は、要注意です。お米から作られるおせんべいは、血糖値も上がりますし、塩分も多く含まれるので、ご注意ください。



	おせんべい1枚 17g 63 kcal (糖分 約14g)	スティック1本 約 5 本
	みたらし団子1本 60g 118 kcal (糖分 約27g)	スティック1本 約 9 本
	温泉まんじゅう1個 30g 78 kcal (糖分 約17g)	スティック1本 約 6 本

スティック1本
1包 砂糖 3g



毎日の「規則正しい食事」・「バランスの良い食事」の心掛けが、万が一の時にもご自身・ご家族の助けになります♪

巣ごもり生活への快適セルフストレッチ

リハビリテーション科 運動療法主任 山下 昌伸

昨年に引き続き、長期化する新型コロナウイルス感染予防のため茨川市の介護予防事業は延期となっています。皆様の感染予防効果に関わらず、手強いウィルスのため不要不急の外出を制限する状態が続いています。長期間、自宅で過ごされる時間が増えていることから、体力低下の不安や精神的ストレスが増えているのではないかと懸念しています。心と身体は一体であり、コロナ禍によるストレスに晒されている多くの現代人の身体は、不快感という縛りから解放されたいと願っているのではないのでしょうか。今回、リハビリテーション科でご提案させていただくのは、自宅で行う体力低下予防と精神的ストレス軽減を目的にした、ひとりで簡単にできるセルフストレッチの方法をご紹介します。

皆様にとって馴染みのあるストレッチの効果について再確認します。①筋、腱、靭帯の柔軟性を高める、②関節の可動域を大きくする、③末梢血行循環を良くする、④心身をリラックスさせる、⑤運動神経—筋の働きをスムーズにする、⑥筋—知覚神経の働きをスムーズにするなどの効果があったことを思い出していただけたでしょうか。ストレッチの方法としては、伸ばす筋に**軽い緊張感（ツッパリ感）**が出るまで、ゆっくりと関節可動域を広げていきます。その位置で筋の緊張感が和らぐまで待ち、再び軽い緊張感が出るまで筋を伸ばして10~30秒間止めて1-2回行ってください。

ストレッチで筋を傷めないポイントは、①呼吸を止めない、②反動をつけない、③伸びたところで止める（痛くない程度）、④伸びている筋を意識します。始めは、全部の種類を行おうとせずに出るものから行っていきましょう。

リハビリテーションに関わるセラピストとして、皆さまの生活に関わる身体動作を確認して、骨・関節・筋ヲミテ治療を行うことが極めて重要であると思っています。

【引用文献】

- ・メディカルストレッチング 著者 丹波滋郎 金原出版株式会社
- ・ゆるみ筋&こわばり筋のコンディショニング 著者 矢野史也 道和書院
- ・ストレッチングと筋に解剖 著者 ブラッドウォーカー 南江堂

<リハビリーストレッチ>

呼吸を止めない!
息を吐きながら!

反動をつけない!

4つの
ポイント

伸びた所で止める!
痛くない程度で伸ばす!

伸びている筋肉を
意識しましょう!

<p><肩のストレッチ> 反対の腕で押さえましょう</p>	<p><腰のストレッチ> 後ろへ向くようにして回しましょう</p>	<p><胸のストレッチ> 胸を開くようにしましょう</p>
		
<p><お尻と膝のストレッチ> 両手で膝を抱えましょう</p>	<p><後ろ腿のストレッチ> 膝を伸ばすようにしましょう</p>	<p><内腿のストレッチ> 足を開き、体を前傾しましょう</p>
		
<p><股関節のストレッチ> 足を後ろへ、体を前に傾けましょう</p>	<p><骨盤筋のストレッチ> 足を組んで体を前に傾けましょう</p>	<p><背中中のストレッチ> 手を組んで腕を前に傾けましょう</p>
		



渋川医療センター外来診療担当医表

(令和3年7月1日現在)

診療科	時間帯	月	火	水	木	金
一般内科	午前				モリ カズヨ 森 一世	
循環器内科	午前		マツオ ヤエ 松尾 弥枝 (北関) (第1.3.5週)	ミキ ユウコ 三樹 祐子(心血セ) (第1.3.5週)		ヤマギシ トシハル 山岸 敏治
	午後		イワサキ トシヤ 岩崎 俊弥 (北関) (第2.4週)	クリハラ ジュン 栗原 淳(心血セ) (第2.4週)		
脳神経内科	午後			ヤナギサワ タカユキ 柳澤 孝之 (第1.3.5週13:30~)		
呼吸器内科	午前	オオサキ タカン 大崎 隆	イトウ マサシ 伊藤 優志(群大)	トヨダ マサタカ 豊田 正昂	オオスキ コウジ 大貫 祐史	クワコ トモヒト 桑子 智人
	午前	ヨシイ アキヒロ 吉井 明弘	ムラタ ケイスケ 村田 圭祐	ツチヤ ユキコ 土屋 友規子	サクライ レイコ 櫻井 麗子(群大)	ワタナベ サトル 渡邊 寛
	午前	サイトウ リュウセイ 斎藤 龍生	スナガ ノリアキ 砂長 則明(群大)	サイトウ リュウセイ 斎藤 龍生	オオサキ タカシ 大崎 隆	ヨシイ アキヒロ 吉井 明弘
	午前	トヨダ マサタカ 豊田 正昂				
	午前		マスダ トモミ 増田 友美(群大)			
内分泌・代謝内科	午前		ヒラガ ハルナ 平賀 春菜(群大) (内分泌・代謝内科)	オオサキ アヤ 大崎 綾(群大) (内分泌・代謝内科)	カワシマ チエコ 川島 智恵子 (内科)	ヨシノ サトシ 吉野 聡(群大) (内分泌・代謝内科)
	午後					
内科 Walk in 外来	午前	内科 Walk in (渡邊、桑子、三原、西連寺)	一般外来研修 内科 Walk in (松本、斎藤、入内島、中山)	一般外来研修 内科 Walk in (佐藤、長島、木村、古谷)		一般外来研修 内科 Walk in (大崎、村田、大貫、豊田)
小児科 (重心のみ・予約制)	午後			イノウエ フミタカ (第1・3・5週) 井上 文孝(重心) シミズ ノブノブ (第2・4週) 清水 信三(重心)		
血液内科	午前	ナカヤマ ケイタ 中山 敬太	イリウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃	マツモト モリオ 松本 守生	マツモト モリオ 松本 守生	ミハラ マサヒロ 三原 正大
	午後 (予約)		オガワ ヨシユキ 小川 孔幸 (第2週)			
	午前	サイトウ アキオ 斎藤 明生	ミハラ マサヒロ 三原 正大	イリウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃	イソダ アツシ 磯田 淳	サイトウ アキオ 斎藤 明生
	午前	イリウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃	サウムラ モリオ 澤村 守夫	ナカヤマ ケイタ 中山 敬太	イリウチシマ ヒロノ 入内島 裕乃	オオサキ ヨウヘイ 大崎 洋平(群大)
消化器内科	午前	ナカジマ ヨシミ 中島 良実	ナガシマ タモン 長島 多間	ヤマザキ ユウイチ 山崎 勇一(群大)	サウ ヒロコ 佐藤 洋子	フルヤ ケンスケ 古谷 健介
	午前	キムラ ユウコウ 木村 有宏	カナヤマ ユウキ 金山 雄樹(群大)	ヒロカワ トモユキ 廣川 朋之		アダチ タクヤ 安達 拓也(群大)
緩和ケア科 (予約制)	午後	コバヤシ ゴウ 小林 剛		イトウ ヨシヒコ 伊藤 義彦	イトウ ヨシヒコ 伊藤 義彦	コバヤシ ゴウ 小林 剛
精神腫瘍科 (予約制)	午後	マジマ タケヒコ 間島 竹彦	マジマ タケヒコ 間島 竹彦		マジマ タケヒコ 間島 竹彦	
放射線治療科 (予約制)	午前	ナカムラ ユウジ/マツウラ マサナ 中村 勇司/松浦 正名	ナカムラ ユウジ/マツウラ マサナ/クワコケイコ 中村 勇司/松浦 正名/桑子 慧子	マツウラ マサナ/クワコケイコ 松浦 正名/桑子 慧子	ナカムラ ユウジ/マツウラ マサナ/クワコケイコ 中村 勇司/松浦 正名/桑子 慧子	ナカムラ ユウジ/クワコケイコ 中村 勇司/桑子 慧子
	午後	マツウラ マサナ/クワコケイコ/カシマ タクヤ 松浦 正名/桑子 慧子/神沼 拓也				ナカムラ ユウジ 中村 勇司
麻酔科	午前		ウチハシ ヨシタカ 内橋 慶隆	セキモト ケンイチ 関本 研一 (ペインクリニック外来)		ウチハシ ヨシタカ 内橋 慶隆

外来受付時間 8時30分～11時00分 注)担当医変更の場合もございますので、予めご了承ください。

※眼科の月曜日診察は紹介状をお持ちの方とご予約されている方のみ受診できます。

※整形外科は初再診にかかわらず、原則完全予約制です。

※原則、午後は予約診察のみとなりますが、★印の診察については受付時間は15:00までとなります。

※(予約)と記載がある場合は、予約患者さんのみの診察となります。

※再診予約の方については16:00まで再来受付機での受付が可能です。

※やむを得ない事情により突然の休診や診療医師変更もございます。ご了承願います。

◎予約変更について 受付時間：平日13～17時 TEL.0279-26-3010 (予約専用)
TEL.0279-23-1010 (代表)

診療科	時間帯	月	火	水	木	金
循環器外科	午前				サカタ キミマサ 坂田 公正(北関)(第1週) ナカシマ クニキ 中島 邦喜(北関)(第3週)	
消化器外科	午前	マキタ フジオ 蒔田 富士雄	ヨシナリ タイスケ 吉成 大介	コバヤシ ミツノブ 小林 光伸	マキタ フジオ 蒔田 富士雄	タナハシ ヨシフミ 棚橋 美文
	午後		マキ シンゲオ 真木 茂雄	スケガワ シンサク ★助川 晋作 (肛門科・消化器外科) (第1.3.5週 13:30~)		
呼吸器外科	午前	ヤマキ エイ 八巻 英		カワシマ オサム 川島 修	タカハシ ケンゴ 高橋 研吾	カワシマ オサム 川島 修
	午前					ヤマキ エイ/オノザト リョウイチ 八巻 英/小野里 良一 アイシマ カオル 相島 薫(群大)
脳神経外科	午後14時~					アイシマ カオル 相島 薫(群大)
	午前	ゴウダ ツカサ 合田 司	タカハシ アキオ 【予約制】高橋 章夫	ゴウダ ツカサ 合田 司	タカハシ アキオ 高橋 章夫	ゴウダ ツカサ 合田 司
	午後					イベ ヨウコ 伊部 洋子(群大)
	午前		ヒラト マサブミ 平戸 政史		ヒラト マサブミ 平戸 政史	
	午後(予約)				ヒラト マサブミ 平戸 政史	
	午前					
ニューロ モデュレーション外来	午後			ヒラト マサブミ 平戸 政史 ★ニューロモデュレーション外来 14:00~		
整形外科 (予約制)	午前	キタガワ タカノリ 喜多川 孝欽	イイツカ ヨウイチ 飯塚 陽一(群大)	オカムラ コウイチ 岡郷 興一(群大) (第1.3.5週) タカセ リョウタ 高瀬 亮太(群大) (第2.4週)	カナザワ サエコ 金澤 紗恵子	
	午後		イイツカ ヨウイチ 飯塚 陽一(群大)			ヨネモト ユキオ 米本 由木夫 (第2.4.5週) 【リウマチ専門外来】
	午前	カヤカベ マサトモ 加家壁 正知	カナザワ サエコ 金澤 紗恵子		カヤカベ マサトモ 加家壁 正知	キタガワ タカノリ 喜多川 孝欽
	午後	カヤカベ マサトモ 加家壁 正知			カヤカベ マサトモ 加家壁 正知	
泌尿器科	午前	タムラ ヨシミ 田村 芳美	タムラ ヨシミ 田村 芳美	ミヤオ タケシ 宮尾 武士	タムラ ヨシミ 田村 芳美	ミヤオ タケシ 宮尾 武士
	午後(予約)	タムラ ヨシミ 田村 芳美	ミヤオ タケシ 宮尾 武士		タムラ ヨシミ 田村 芳美	タムラ ヨシミ 田村 芳美
	午前 10:00まで	ツジ コウスケ 辻 裕亮	ミヤオ タケシ 宮尾 武士	タムラ ヨシミ 田村 芳美	ツジ コウスケ 辻 裕亮	タムラ ヨシミ 田村 芳美
	午前 10:00まで				ミヤオ タケシ 宮尾 武士	
	午前 10:00まで					トイ コウキ 土肥 光希(群大)
耳鼻咽喉科 (9:00-14:00)	午前			オカモト アヤコ 岡本 彩子		オカモト アヤコ 岡本 彩子
皮膚科	午前	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	アオヤマ クミ 青山 久美
	午後(予約)	アオヤマ クミ 青山 久美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	タカハシ アユミ 高橋 亜由美	アオヤマ クミ 青山 久美
	午前	アオヤマ クミ 青山 久美	アラキ タケシ 荒木 健(群大)(第2.4週)	アオヤマ クミ 青山 久美	アオヤマ クミ 青山 久美	
甲状腺科	午前	ヨコタ トオル 横田 徹	ヨコエ タカオ 横江 隆夫	ヨコタ トオル 横田 徹		ヨコエ タカオ 横江 隆夫
	午後(予約)			ヨコタ トオル 横田 徹		
乳腺科	午前	サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子	ヨコタ トオル 横田 徹	サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子		ヨコタ トオル 横田 徹
	午後(予約)		ヨコタ トオル 横田 徹			ヨコタ トオル 横田 徹
乳腺・甲状腺科	午前	ヨコエ タカオ 横江 隆夫	サトウ アヤコ 佐藤 亜矢子	ヨコエ タカオ 横江 隆夫		
眼科	午前	サカタ サトシ 坂田 慧(群大)	タカヤマ マユコ 高山 真祐子(群大) (偶数月担当)	アマナイ サヤ 天内 清(群大) (偶数月担当) タカヤマ マユコ 高山 真祐子(群大) (奇数月担当)		
	午後(予約)		ムカイ リョウ 向井 亮(群大)	高山 真祐子(群大) (奇数月担当)		
	午前	ムカイ リョウ 向井 亮(群大)				

セカンドオピニオン担当表 (令和3年7月1日現在)

科 別	予約時間	月	火	水	木	金
呼吸器内科 (肺腫瘍)	午後3時30分～	吉井 明弘	—	吉井 明弘	—	—
呼吸器外科	午前中	川島 修	—	—	—	—
血液内科	午後2時～	松本 守生	—	—	—	—
乳腺・甲状腺外科	午後2時30分～	横江 隆夫 (午後～)	—	横田 徹	—	—
消化器外科	午後	蒔田 富士雄	—	—	小林 光伸	—
放射線科	午後3時～	—	—	松浦 正名	中村 勇司	—
緩和ケア科	午後	小林 剛	—	—	—	小林 剛
皮膚科	午後3時～	高橋 亜由美	—	—	—	—
泌尿器科	午後3時30分～	—	—	—	—	田村 芳美
脳神経外科	午後	—	—	宮城島 孝昭	—	—

※対象者:原則として患者さん本人、患者さんの同意を得た家族 費用:30分毎に5,500円

※お問い合わせ先:TEL0279-23-0626 地域医療連携室(直通)

患者さんの権利

1. 最善の医療サービスを受ける権利
2. 人格・人権を尊重される権利
3. 知る権利
4. 自己決定権
5. プライバシーを保護される権利

がん相談支援センター

- がんに関するご相談は「がん相談支援センター」でお受けします。
担当:ソーシャルワーカー
電話:0279-23-1010(代表)
(受付時間は平日8:30～17:15です)
- メールによるご相談は、下記にて終日受け付けておりますが、回答は若干の日数を要する場合がございます。
E-mail:207-ShibuKawaMC_mbx@mail.hosp.go.jp

看護の理念 患者さんの立場に立ち、心あたたかく、信頼に応える看護を提供します。

看護の基本方針

1. 患者さんの気持ちを大切に、思いやりとまごころ込めた看護を提供します。
2. 患者さんと共に考える看護の実践により患者さんが自ら意思決定が行えるよう支援します。
3. 地域の人々と連携を図ることで患者さんの生活の質の維持向上に努めます。
4. 患者さんの尊厳と権利を尊重した質の高い看護を提供します。
5. 看護の専門性を追求し、根拠に基づいた安全で安心な看護を提供します。

編集後記

第102号のウィズは、いかがだったでしょうか？

ウィズでは、シリーズで「患者さんにとって耳寄りな情報」を毎月お届けしています。病院には医師をはじめ、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、看護師などなどの国家資格をもった多くのスペシャリストが集まっています。今号ではコロナ禍における食事とストレッチの情報をお届けしています。管理栄養士から食品の糖分をスティックシュガー(1本3g換算)に例え、おせんべいが5本分、みたらしだんごに至っては9本分とびっくりでした。また、理学療法士からのストレッチの情報では、実際にストレッチをやってみて、とってもしっかりしました。ぜひ、読者の方も試されてはいかがでしょうか？コロナ禍でスポーツジムにも行けずに運動不足気味でしたので、定期的にストレッチをやりよう決意を新たにしました。

今後もウィズでは、タイムリーで有益な情報を提供していきますので、楽しみてください。

(萩原 隆)



独立行政法人 国立病院機構 渋川医療センター

〒377-0280 群馬県渋川市白井383番地 TEL 0279-23-1010 (代) FAX 0279-23-1011

<https://shibukawa.hosp.go.jp>